



### 山間部に 点燈計劃

水利の便に恵まれてゐる本縣は、縣内各河川を利用して大小無数の水力發電所が建設され、數十萬キロの發電に依つて全縣下に配電され、文明の恩恵を受けてゐるが、石城郡山間部の村落には未だ電燈に恵まれない部落が少なくないので、これら部落ではいづれも村當局の援助を得て電燈會社に設備方を交渉してゐる、然し經費その他關係から容易に實現しやうもないので、目下協議を進めてゐるが、場合に依つては不燈火部落全部が結束して主務省に点燈實現促進運動を起さんとする。

平町紺屋町  
**吉田眼科**  
電話六八番

### 大敷網事件

来る十五日福島地方裁判所平支部民事部で開廷されることになつて居る小名濱大敷網漁業權に對する公判に際して高橋側では代理人として東京法曹界の大家たる鳩山秀雄辯護士と下田、小林兩辯護士三名が出廷、白井氏側からは平町の少壯辯護士として知られて居る千葉辯護士並に東京から高橋辯護士の兩氏が出廷して漁業權の確證を争ふことになつたので、いづれ問題は重要視され結果如何は一般から特に注目されるに至つた。

## 藝妓演藝大會

愈々六日

午後六時開演

美妓七十余名出演

演藝番組

- 一、長 唄 鶴 龜
- 二、義太夫 鈴 ヶ 森
- 三、常盤津 磐城四季遊
- 四、清 元 六 玉 川
- 五、長 唄 浦 島
- 六、義太夫 日 吉 丸
- 七、清 元 四 君 子
- 八、長 唄 元 祿 花 見 踊
- 九、磐城 大 漁 踊
- 十、新 劍 劇

外 安 來 節、二へん返し

追 分、磯 節、おけさ節

二上り新内、槍さび

當日は満員の豫定ですから早くと出でを願ひます。

於 聚 樂 館

主催 磐城時報社  
後援 磐城新聞社  
常磐毎日新聞社

入學學生靴の御用命は大塚支店へ  
進級學生靴の御用命は大塚支店へ  
中 等 生...用 靴  
女 學 生...用 靴  
小 學 生...用 靴  
◎豊當に廉價に實用無比の品を揃へ御来店を御待ちして居ます。  
平・田 町(電話七二〇番)  
全國靴工競技會賞状 受領 大塚支店 製靴部  
勸業博覽會金牌 運動具部

進級入學に  
**學生カバン**  
**學生ボート**  
女學生用手提鞆  
商業學校指定の  
特製 手提げ鞆  
平町四丁目  
**ツルヤ商店**  
電話百四十番

内臓外科專 藤本 順  
骨關節外科專 藤本 順  
整形外科門 藤本 順  
産婦人科 院長 木村寅次郎  
婦人科 木村寅次郎  
外科 木村寅次郎  
産婦人科 木村寅次郎  
平町新川町(電話一六四)

石版印刷  
三國屋印刷所  
平町鍛冶町  
電話五三三番

外科 專門  
**花柳病科**  
平町六丁目橋際  
**木村外科醫院**  
電話三〇九番

謝恩第二回特別大興行  
◆四月四日替り  
市川右太衛門主演 原作大路廣 監督長尾史録  
提 供 白帆はちぬる 全八巻  
高堂國典、春等靜子、川端繁、中村吉松、巴蝶子、嵐巖當  
東京大阪毎日新聞所載 原作三上於菟吉先生  
名 活 流 十 前 卷  
岡田時彦、中野英二、島耕二、入江たか子、高木永二、小杉勇、夏川靜江、三樹豊  
雜誌(富士)連載 原作三上於菟吉先生  
連續時代映畫の粹  
第二 落花劍光錄 全九巻  
澤田清、櫻井京子、中村英雄、澤蘭子、淺香新八郎、常盤操子  
爲謝恩 金十錢 日活 平 館  
普通席 松竹

安 全 第一  
諸債券、公債類の御用は是非迅速簡易をモットーとする弊店を精々御利用下さい  
營業 勸業債券 兩替  
復興債券 金融  
公債其他  
質物一般取扱  
店商井田多  
町工大町平

印刷物は...加納活版所